

Authors

執筆者紹介

【編著者】

兼松 百合子（かねまつ・ゆりこ） 第1章、第6章（第1・2節）
元・岩手県立大学 名誉教授

荒木 暁子（あらかき・あきこ） 第1章、第2章
日本看護協会常任理事

羽室 俊子（はむろ・としこ） 第7章、第8章
保健師
元・岩手県立大学非常勤講師
日本保育園保健学会機関誌『保育と保健』編集委員

【著者】 ※執筆順

金泉 志保美（かないずみ・しおみ） 第3章（第1～2節）、第4章
群馬大学大学院准教授

前田 はる香（まえだ・はるか） 第3章（第3～7節）
千葉敬愛短期大学非常勤講師

竹田 由美子（たけだ・ゆみこ） 第5章
東京福祉大学非常勤講師

須藤 佐知子（すとう・さちこ） 第6章
文京学院大学助教

小櫃 芳江（おびつ・よしえ） 第9章
聖徳大学短期大学部教授

本間 美知子（ほんま・みちこ） 第9章
元・聖徳大学短期大学部准教授

【編集協力】

伊藤 道子（いとう・みちこ） 第3章の排泄・沐浴、第4章の感染予防、第5章全般、
第7章の衛生管理など、感染症予防技術全般について
北里大学准教授

Preface

まえがき

「子どもの保健・実習」第3版 発刊よせて

本書は、2010（平成22）年に改訂・出版された「新訂 小児保健実習―すこやかな育ちをサポートするために」が、2012（平成24）年から「子どもの保健実習―すこやかな育ちをサポートするために」と名称変更、2013年の第2版から「子どもの保健・実習」となり、今回監修者や執筆者も一部交代し第3版となりました。本書は子どもの保健の内容を十分に含んでおり、実習にも活用できるとして、長年にわたり保育士養成課程のみならず、保育現場においてもご活用いただいております。

今回の改訂では、2017（平成29）年の保育所保育指針の改定を受け、乳児・1歳児以上3歳未満児の保育の重要性を鑑み、保育活動を通して「育みたい3つの資質・能力」「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を念頭に加筆しました。また、新設科目「子どもの健康と安全」の内容に準拠し、第4～8章で加筆修正しました。さらに、「障害者差別解消法」の施行を受け、障害のある子どもへの対応を充実しました。全体的に、昨今の育児上の関心事などを踏まえ、保育現場での考え方の基本、保護者の心配に対応するための知識なども含め、記述や脚注を充実させております。

以下は、第2版までの編著者代表である故・兼松百合子先生の文章をそのまま引用させていただきます。このスタンスは、本改訂においても踏襲させていただきました。

本書では、現在の保育・保育所等に求められるニーズは、子どもと保護者の両者に関する多様なものであることから、保護者とともに子どもの教育・養護に当たることを強調し、充実した保育を行い、多様な問題に対処するためには、多くの専門職者との連携・協働が必要であることを述べています。本書で初版から重視していることは、“理論に基づく実践”ということです。保育の実践において、なぜそうするのかを理解し、関連する事項にも目を向けるという、実践の基本姿勢を学んでいただきたいと思います。そのために、各章・節は各事項の背景、根拠となる理論、技術、保育現場での実際を、確かな情報に基づき、正確かつ詳細に、わかりやすい記述を心がけています。各自に各章の終わりにある<実習のための課題>に取り組み、文献を読んで、主体的に学んでいただきたいと思います。

本書が、保育を学ぶ学生諸氏と、その教育を担当される先生方や保育の現場の方々のために役立つことを、心から願っています。よりよいものにしていきたく思っていますので、どうぞ忌憚のないご意見をお聞かせください。

2019年4月

第3版編著者代表 荒木暁子

Contents

もくじ

まえがき

第1章 子どもの保育と保健・養護 兼松百合子・荒木暁子 1

第1節 子どもの保育における保健・養護	1
第2節 子どもと家族の健康	3
1 子どもと親—母子相互作用・親子の絆	3
2 家族と健康—家族を中心とする健康支援	4
3 保育・保健・養護に携わる人の家族へのかかわり	5
第3節 子どもの保育に関する保健・福祉専門職—保育士・幼稚園教諭と他職種との連携	6
第4節 子どもの保育を支える保健・福祉システム	8
1 子どもの保健・福祉の背景—人口動態、疾患等	8
2 母子保健対策・次世代育成支援	13
<実習のための課題>	19

第2章 子どもの成長発達 荒木暁子 21

第1節 子どもの成長発達	21
1 成長発達とは	21
2 形態的成長	23
3 神経機能と運動機能、言語機能の発達	26
第2節 生理的機能の発達	26
1 呼吸	27
2 循環	27
3 体温調節	28
4 血液と免疫	28
5 水分と電解質	29
第3節 知能・言語・情緒・社会性の発達	29
1 小児期の精神発達	29
2 情緒	30
3 社会性	31
4 生活行動の発達	31

第4節 子どもの成長発達の評価	32
1 バイタルサイン	32
2 身体測定	32
3 発達評価	37
第5節 発達支援の基本	39
1 身体状態、健康状態を整える	39
2 子どもを見守り、十分にかかわるおとなの存在の重要性	39
3 個別性を重視する	39
4 道筋に沿った発達を可能とする環境とかかわりによる導き	39
5 発達につまずきのある子への早期発見・早期支援・一貫した支援	40
<実習のための課題>	40

第3章 子どもの日常生活の養護 金泉志保美・前田はる香 43

第1節 子どもの生活環境	43
1 生活環境調整の意義	43
2 健康生活と環境	44
3 室内の清潔と消毒	45
第2節 子どもの栄養と食事	46
1 子どもの栄養と食事の特徴	46
2 乳幼児の栄養・食事	51
3 乳幼児の栄養・食事の実際	53
第3節 子どもの睡眠・休息	76
1 睡眠の意義	76
2 睡眠の生理と休息	77
3 睡眠への援助としつけ	79
4 睡眠に関する問題	80
第4節 運動・遊び・鍛錬・抱き方	83
1 運動と遊び	83
2 鍛錬—外気浴・赤ちゃん体操など	86

3	だっこなどでの移動	88
第5節	排泄	89
1	排泄の意義	89
2	排泄の生理と排泄行動の発達	90
3	排泄の自立への援助	91
4	おむつ	93
第6節	身体の清潔	96
1	身体清潔の意義	96
2	沐浴	98
第7節	衣生活	102
1	子どもと衣服	102
2	子どもの寝具	103
3	衣生活への援助	103
	<実習のための課題>	104

第4章 健康状態の把握と支援 金泉志保美 109

第1節	健康観察	109
1	健康観察の意義	109
2	一般状態の観察	109
3	身体各部の観察	113
4	虐待の早期発見	117
第2節	一般的な症状に対する看護	117
1	体調不良の子どものケア	117
2	子どもへの一般的なケアの方法	129
第3節	特別な配慮を必要とする子どもの理解	133
1	病児・病後児の理解	133
2	発達障害児の支援	137
3	慢性疾患児	145
4	視覚障害・聴覚障害のある子ども	159

5	医療的ケアの必要な子ども	161
	<実習のための課題>	164

第5章 感染の予防 竹田由美子 167

第1節	感染とは	167
1	感染予防の原則	169
2	感染の予防	179
3	保育所職員（保育実習の学生を含む）の予防接種	188
4	感染症発生時の措置	188
第2節	保育所・幼稚園等における感染症の予防対策	189
1	感染症の予防	189
2	感染症管理の組織体制	195
	<実習のための課題>	195

第6章 事故防止と安全 兼松百合子・須藤佐知子 197

第1節	子どもの事故の特徴	197
1	子どもの事故防止と安全の重要性	197
2	子どもの事故の現状	200
第2節	子どもの事故の発生にかかわる要因と事故防止	201
1	子どもの発達の特徴と事故防止	202
2	環境・危険物と事故防止	204
3	事故予防策の具体的な進め方	205
4	「健やか親子21(第2次)」による対策	207
第3節	保育所・幼稚園等における事故	210
1	保育所・幼稚園等における死亡・重大事故	210
2	保育所・幼稚園等における死亡・重大事故防止	210
第4節	応急手当・救命処置	219

1 保育所・幼稚園での傷害の発生状況	219
第5節 救命処置と危機管理	232
1 気道の異物除去	232
2 エピペン®	233
3 心肺蘇生法とAED	234
4 通報	237
5 緊急発生時の現場の対応および役割分担	237
6 死亡事故等の重大事故発生時の対応	237
<実習のための課題>	240

第7章 集団保育における健康管理 羽室俊子 243

第1節 保育所・幼稚園等における健康管理の意義・目的	243
第2節 保育所・幼稚園等における健康管理の実際	244
1 保健安全計画の立案	244
2 子どもの健康管理・健康支援	246
第3節 健康で安全な環境の整備	255
1 環境および衛生管理	255
2 災害対策	261
3 人的環境としての職員の保健安全管理	263
<実習のための課題>	264

第8章 集団保育における健康教育 羽室俊子 267

第1節 保育所・幼稚園等における健康教育	267
1 保育所・幼稚園等における健康教育の目的	267
2 保育所・幼稚園等における健康教育の内容	268
3 健康教育の実施にあたって	269
第2節 保育所・幼稚園等における健康教育の実際	272
1 基本的生活習慣	273

2 からだ	283
3 ころこ	287
第3節 家庭における子育て支援としての健康教育	291
1 子育て支援としての「保健だより」	291
2 保護者会での子育て支援としての健康教育	295
3 地域子育て支援事業での健康教育	295
<実習のための課題>	297

第9章 保育士等を目指す学生としての自己管理 本間美知子・小櫃芳江 299

第1節 保育士等を目指す学生として求められるもの	299
1 保育の対象と保育の場	299
2 青年期における生活習慣の振り返りの意義	300
3 自分自身の体調を第三者に伝える	301
第2節 生活習慣の振り返りの実際	302
1 姿勢	302
2 靴の選び方	305
3 爪の切り方	306
4 その他	306
第3節 保育現場における保育士等の健康問題	307
1 腰痛	308
2 頸肩腕症候群	308
3 自律神経失調症	309
<実習のための課題>	310

さくいん 313